



サーバ内蔵型バッテリーユニット (PY-BBG03)

ご使用上の留意・注意事項

この度は、弊社のサーバ内蔵型バッテリーユニット（以降、本製品と記載します）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品に関して、以下の留意・注意事項がございます。本製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2017年5月

富士通株式会社

1. 対象機種

本留意事項の対象機種は以下の製品になります。

サーバ内蔵型バッテリーユニット（型名: PY-BBG03、PYBBBG03）

2. サーバの構成制限に関する留意事項

本製品を PRIMERGY RX2530 M1 に搭載する場合には、装置構成に制限があります。詳細は PRIMERGY RX2530 M1 のシステム構成図をご確認ください。

3. 本製品の管理ソフトウェアに関する留意事項

本製品には下記 OS 用の管理ソフトウェア（FJBU 管理ソフトウェア）が準備されています。

適用 OS : Windows Server 2016

Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、

Windows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2008 SP2

最新の管理ソフトウェアは以下のサイトからダウンロードできます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

管理ソフトウェアのインストール方法等については、ダウンロードサイトに格納されている『FJBU 管理ソフトウェア ユーザーズガイド』を参照してください。

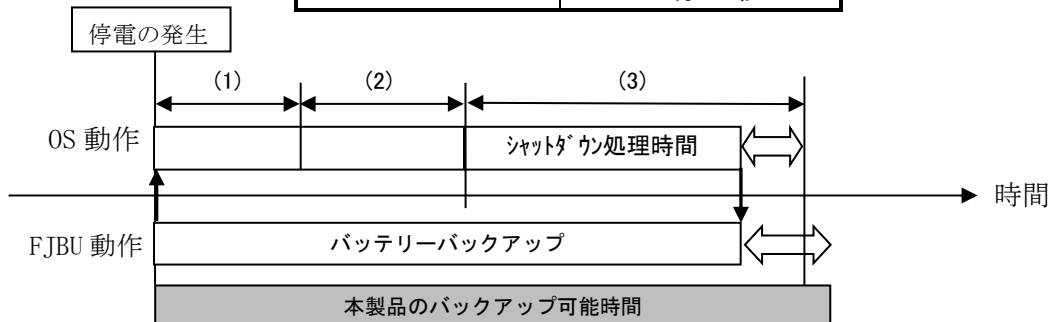
4. ServerView 連携に関する留意事項

本製品は電源モジュールと同様に、ServerView Operations Manager（以下 SVOM と略称）の監視画面からまとめて監視できます。（SVOM の対応版数は、V7.01 以降）SVOM のインストール方法等については、下記 URL の ServerBooks サイトの、ServerView Suite 関連マニュアルを参照してください。 <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>
リモートサーバの SVOM からリモートで管理ソフトウェアにアクセスする場合は、FJBU サービスを再起動する必要があります。

5. シャットダウンの時間設定の留意事項

本製品が完全放電となった場合には、サーバ電力が停止し正常なシャットダウンとなりません。安全にシャットダウンするためには、本製品のバックアップできる時間以内に、シャットダウンが完了するように設定を行ってください。本製品の供給電力とバックアップ時間の関係は、2 ページの表のようになります。

サーバ消費電力(W)	バックアップ時間
380	2 秒
280	4 分
250	4 分 30 秒
200	5 分 40 秒
150	7 分 37 秒
100	11 分 30 秒



管理ソフトウェアの設定	デフォルト値
(1) シャットダウン待ち合わせ時間	: 10 秒
(2) コマンド実行時間	: 60 秒
(3) OS シャットダウン処理時間	: 60 秒

6. 本製品の留意事項

- (1) 本製品をサーバ本体に実装しサーバの電源を投入した際、および本製品を活性で交換した際は、緑 LED が点滅します。緑 LED の点滅状態は本装置を充電していることを表します。
- (2) 本製品のファンは必要に応じて回転します。回転していない場合も異常ではありません。
- (3) 本製品を完全に放電させ、サーバ電力が停止した後に本装置に電力を供給すると、オレンジ LED が点滅する場合があります。しばらく充電してオレンジ LED が消える場合は異常ではありません。
- (4) 完全に放電した状態から満充電までは 5 時間の充電が必要です。充電のためにはサーバの電源を投入する必要があります。満充電されると LED が緑色で連続点灯します。
- (5) 本製品のバッテリー寿命は装置の環境温度 30℃以下で放電頻度が少ない場合には5年以上となります。装置の環境温度が高い場合および放電頻度が高い場合（年に4回以上）には、バッテリー寿命が短くなる場合があります。
- (6) 長期保管し使用しない場合も、1年毎に充電が必要です。1年以上にわたり充電しない場合は、バッテリーが劣化し本製品が故障する可能性があります。
- (7) Red Hat Enterprise Linux 環境および VMware 環境でご使用になる場合は、本製品添付の管理ソフトウェアが使用できないため、停電時のシャットダウンの設定はできません。停電発生時は、お客様での対応が必要となります。
- (8) FJBU 管理ソフトウェアの設定において、コマンドファイルを指定しない場合は、コマンド実行時間はスキップされます。また、コマンドファイルには画面表示を伴うコマンドは指定できません。

- (9) サーバに LAN ケーブルが接続されていない場合、SNMPトラップが送信されない場合があります。
- (10) Windows を Server Core インストールオプションでインストールした環境は、FJBU 管理ソフトウェアの動作環境対象外となります。
- (11) FJBUを活性で挿入した場合、FJBU 管理ソフトウェアの画面が更新されない場合があります。その場合には、FJBU Service を再起動してください。
- (12) リモートサーバの SVOM からローカルサーバの管理ソフトウェアにリモートでアクセスする場合、ローカルサーバの FJBU サービスを再起動する必要があります。
- (13) 搭載サーバが TX1330 M2/M3 の場合、活性で挿入する前に FJBU にアクセスする下記のサービスを停止する必要があります。挿入した後で、停止したサービスを再起動する必要があります。停止するサービス:FJBU サービス および 先頭が ServerView で始まる全てのサービス
- (14) 本製品および FJBU 管理ソフトウェアをご使用の場合、起動時に以下のメッセージがシステムログ(SEL)に出力されることがありますが、動作に影響はありません。

【出力メッセージ】

Power supply not manageable

Power supply OK

—以上—